学校番号	３１５

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	コールユーブンゲン学生版（音楽乃友社）						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート（教育芸術社）コールユーブンゲン学生版（音楽之友社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽譜を見て、旋律やフレーズのまとまりなど様々な情報を読み取り、歌ったり楽器を演奏したりすること、また音楽を聴いて、音程やリズムなどを正しく記譜することは音楽活動の基礎的な能力の一つとなるもので、音楽の専門的な学習として重要です。
・「視唱」（楽譜を見て音高や音程を正しく歌うこと）「視奏」（リズムを正しく表現すること）「聴音」（メロデイを聴き取り楽譜に書くこと）「楽典」（音楽理論）「合唱」（音楽性豊かに表現すること）この５つを年間を通して学習します。
・音楽の学習で大切なことはくり返し練習することです。授業ではしっかり聴き、歌ってください。
・学習の到達度はノートやワークシート、実技テストで評価します。

２　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を形づくっている要素に関心をもち、視唱や視奏、聴音、楽典、合唱などの学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、どのように歌うか、歌唱を工夫し意図的に表現する。	音楽を形づくっている要素を理解し、表現する技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	観察 ノート ワークシート	観察 ノート ワークシート	観察 実技テスト	観察 ノート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1，2学期	音程を正しく歌う	2度音程 3度音程 4度音程 5度音程 6度音程 7度音程	○	○	○		a：音楽を形づくっている要素に関心をもち、視唱に主体的に取り組もうとする。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、歌唱を工夫し表現意図を持っている。 c：音楽を形づくっている要素を理解し、表現する技能を身に付けている。	観察 ノート ワークシート 実技テスト
1，2学期	リズムを正しく表現する	拍子 休符を含むリズム 付点音符　タイ シンコペーション 1拍を2分して歌う練習 複合拍子 16分音符	○	○	○		a：音楽を形づくっている要素に関心をもち、視唱に主体的に取り組もうとする。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、歌唱を工夫し表現意図を持っている。 c：音楽を形づくっている要素を理解し、表現する技能を身に付けている。	観察 ノート ワークシート 実技テスト
1，2，3学期	聴音	メロデイを聴き取り楽譜に書く	○		○		a：音楽を形づくっている要素に関心をもち、聴音に主体的に取り組もうとする。 c：音楽を形づくっている要素を理解し、表現する技能を身に付けている。	観察 ノート ワークシート
1，2学期	音楽性豊かに表現する	【合唱】	○	○	○		a：音楽を形づくっている要素に関心をもち、合唱に主体的に取り組もうとする。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、合唱を工夫し表現意図を持っている。 c：音楽を形づくっている要素を理解し、表現する技能を身に付けている。	観察 ワークシート

3学期	楽典	♯や♭のついた調 まとめ	○			○	a: 音楽を形づくっている要素に関心をもち、楽典に主体的に取り組もうとする。 d: 音楽を形づくっている要素を理解し、知識を身に付けている。	観察 ノート ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。